

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ (29年4月号)

平成29年4月1日

この宮も森の木下(こした)に子供らと遊ぶ春日になりにはけらしも(良寛和尚)

今月の活動日のお知らせです。

4月9日(日)

午前9時～11時 南口電停横「みんなの庭」の手入れを行います。

午後2時～3時 今月も街頭活動を続けます。帯屋町筋中央公園前で葛岡さんのギターと歌声に乗ってチラシを配ります。

5月の月例活動日は14日(日)、6月は18日(日)の予定です。

3月のトピックス

○3月19日(日) 午前

南口電停脇「みんなの庭」の草を取り、サフィニア、キララ各3株を植えました(写真左)。

南口旅広場3志士像前の土佐ミズキが春を告げる花を咲かせていました(写真中央)。

午後:大型客船クイーン・エリザベス号から繰り出してきた外国人観光客で賑わう帯屋町で、葛岡さんのギター・ライブとチラシ配り。「応援するわよ」と千円札を下さった通行人さん有難うございました。今月はこのほかご賛同者4名様からもご寄付いただきました。

○3月21日(火) 午前

高知市長室、市観光振興課、K県議、K市議などを訪問、種崎・浦戸の歴史を綴った新刊「龍馬・元親に土佐人の原点をみる」(中城正堯著、高知新聞総合印刷発行=写真右)を贈呈しました。街づくりのご参考に、という趣旨です。



駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え(花苗提供、勤労奉仕、ご寄付など)をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先: 〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話: 090-8849-3651 E-mail: m.nakata@ak.wakwak.com

公文敏雄 携帯電話: 090-7016-3743 E-mail: kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行: 四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」名義 普通 0709695

「緑のまちづくり」を考える

(9) ^{いのち}生命が蘇った里川（福岡県福津市）

—住民ボランティア、学生、子供、行政が協力

＜水辺に足を踏み入れた途端に、草むらからバッタが飛び立つ。ハグロトンボや蝶が舞う。小魚が水辺の草むらから飛び出してくる。淵にはたくさんの魚影が。ゆるやかに蛇行する川の広々とした岸辺は自然の草地となり、木々が植えられ、散策をする人々や川遊びの子供たちに頻りに利用されている。＞（「公益社団法人土木学会」ホームページより）



年6回の草刈にはボランティアも一役。学生や子供が「勝手に」木や花を植えるのを役所は大目に見ているとか。

福岡市の東北、人口6万人のベッドタウン福津市を流れる「上西郷川」は、かつては護岸がコンクリートで固められ、生き物も少なく、水際に近づくことも困難な典型的な都市河川でした。住宅開発の邪魔だから上にフタをしよう、いや埋めてしまえというような意見もありましたが、それを覆したのは住民、九州大学、行政が力を合わせた「日本一の郷川をめざす」川づくり運動です。2007年に始まって2016年まで、80回を超えるワークショップやイベントが協働で開催されたそうです。ジイバアや父母は孫や子供たちのために汗と知恵を提供、大学は「間伐材や自然石を活用した自然再生工法」を試行し、市長を先頭に行政は「治水と環境のバランス」を目指して9億円の財政支出で後押ししています。



改修前の風景



間伐材や自然石の配置作業

豊かな水に恵まれた東京や大阪、そして地方都市でも、大小の河川を再生・活用してまちづくり・まち興しの主役に仕立てようとする動きが広がっています。高知市の参考にもなるのでは・・・と、今回は土木学会デザイン賞 2016 最優秀賞を獲得したプロジェクトをご紹介いたしました。詳しくは土木学会ホームページをご覧ください。↓

<http://design-prize.sakura.ne.jp/archives/result/568>